

塩の学習室の構成①～⑤

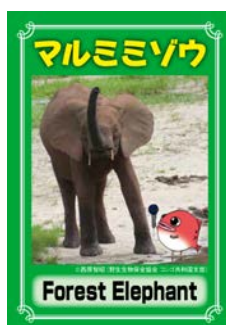
①テーマ展示「動物にきこう！塩のひみつ」

会場：2階特別展示室（開館中はいつでも参加できます）

動物と塩のかかわりは、「塩がすごく欲しい」「塩はそれほど欲しくない」「塩は欲しくない」の3つのタイプに大きく分けられます。動物園のような会場にはいろいろな“動物たち”がいて、12種類の動物に話を聞きながら、塩のかかわりを学んでクイズに挑戦できます。

【「動物にきこう！塩のひみつ」の参加の仕方】

- (1) 会場に入ったら、「塩と動物のかかわり」の説明を読む。
- (2) 「発券機」で“チャレンジシート”をもらう。チャレンジシートには、動物の名前とその動物と塩のかかわりのクイズが書いてある。
- (3) チャレンジシートに書かれた動物のところに行くとお話マシーンがあって、動物に話が聞ける。その動物と塩のかかわりが分かったら、チャレンジシートに書かれたクイズに挑戦。
- (4) 答えを書いたら係員さんのところに持っていく。答えがあっていたら“動物カード”がもらえる。もらった動物カードを持って「発券機」に行くと、新たなチャレンジシートが出てくる。動物と塩のかかわり3つのタイプが全てそろったら、“動物カードフォルダ”がもらえる！



動物カードの一例



動物カードフォルダ

②「塩の実験室」

会場：1階ワークショップルーム（1日4回開催。先着順）

ストーリーに沿って、インストラクターが4つの実験を見せます！

1日4回 各45分。各回先着40名（各回15分前に開場予定）

第1回：10時30分～／第2回：13時～／第3回：14時30分～／第4回：16時～

【実験の内容】

- 海水から塩を作るには？
- 塩水は電気を通す？
- 真水と塩水の二段重ね
- ★ 塩水でせっけんを固める など

★印は会場で何人かに実験を手伝ってもらいます。

（内容を変更する場合があります）

* 各回とも実験の内容は同じです。

* 先着順のため、満室で参加できない場合があります。



Photo.01
「塩の実験室」のようす

③ 「体験コーナー」

会場：2階特設スペース（1日数回実施。整理券制）

備長炭電池づくりや塩の結晶づくりなどの簡単な実験が体験できるワークショップ。
塩についての質問もできます！

【体験メニュー】

- 備長炭電池づくり（25分）
- 塩の結晶づくり（25分）

- * 2種類の実験メニューを時間割にそって実施（時間割は日によって異なります）
- * 各回20名（整理券制）
- * 当日10時から2階特設スペースで整理券を配布（入館手続きが必要）



Photo.02 「体験コーナー」のようす



Photo.03
注射器の中で塩の結晶を作る“塩の結晶づくり”

④ 「塩のおはなし」

会場：3階視聴覚ホール（8月4日・5日開催。先着順）

小学校高学年生から大人を対象に、スライドを交えてわかりやすくお話しする講演会です。

8月4日（土）14時～「アオバトはなぜ海水をのむの？」

講師：斎藤常實・金子典芳〈こまたん（野鳥観察グループ）〉

8月5日（日）14時～「マルミミゾウのくらしと塩なめ場」

講師：西原智昭〈野生生物保全協会 コンゴ共和国支部〉

後援：特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

- * いずれも13時30分に開場
- * 定員100名（先着順で定員まで入場できます）

⑤ その他

☆教材用にメキシコ天日塩がもらえるコーナーがあります！（1階）



Photo.04

☆塩のことが学べる「パソコンクイズ」もあります！（2階）



Photo.05